

第70回Suzuka Voice FM番組審議会 議事録

審議会開催日時 令和3年11月26日(金)

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、書面にて審議

番組審査委員：(順不同・敬称略) 森健成 廣田隆延 服部高明 田城朋子  
岡本隆典 長橋祐子 市野聖治

委員総数：7名

■地域団体と協力した番組放送について(審議  
議題詳細)

当ラジオでは今年1月から鈴鹿市社会福祉協議会の協力によりコーナー番組「ラジオ社協すずか」を放送している。また、鈴鹿市と生活・文化圏を共有する亀山市の諸団体との連携も強化するべく、10月からは亀山市社会福祉協議会協力のもと、コーナー番組「ラジオかめやま社協だより」の放送を始めた。

番組審議会では当ラジオの地域団体と協力した番組放送に対するご意見や、地域密着のラジオ局として諸団体との連携を深めていくにあたり、どのような団体と協力した番組を制作していくのが良いかについて以下のご意見をいただいた。

意見・提案等)

- ・コミュニティ放送ならではの地域団体との連携は、とても重要な取組だと思う。
- ・地域密着の貴重なラジオ局として、今後も活動を充実させていただきたい。
- ・福祉団体、NPOをはじめ、医療や農業関係等、住民の生活と密接な団体との広い連携が取ればよいと思う。
- ・鈴鹿には外国籍の住民の方も多いため、多文化共生に向けて活動している鈴鹿国際交流協会の活動を広く市民に知ってもらうことは意義がある。
- ・地域密着のラジオ局の強みを活かし、児童生徒関連の団体と連携してはどうか。ラジオが身近ではない若年層に関心を持ってもらえる番組づくりは、今後、重要である。
- ・小中学校の音楽発表や、例えば中学校の文化祭の合唱コンクールなどの優秀クラス等の発表もできるのではないか。
- ・団体との連携という形にこだわらず公民館のサークルの発表なども取り上げると面白いと思う。

以上